

令和6年度神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科総合型選抜入試問題

スポーツ科学受験 筆記試験

『出題の意図・評価ポイント』

スポーツ科学に関する筆記試験

※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。

※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。

なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、令和6年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

問題Ⅰ

問1.

高く跳ぶための跳躍運動を考えるうえで、必要なスポーツ科学領域の基礎的用語を理解しているか（理解力）を問う問題である。

問2.

走高跳の跳躍技術における「効率」について、問題資料をもとに考察し（思考力）、的確に記述できるか（表現力）を問う問題である。

問3.

問題資料から走高跳の高く跳ぶための跳躍運動を分析するとともに（分析力）、運動技術を実際に即して考察することができるか（思考力）、また、的確に記述できるか（表現力）を問う問題である。

問題Ⅱ

問1.

子どもの体力向上を考えるうえで、新体力テストについての基本的用語やテスト項目の評価内容、運動特性などについて理解しているか（理解力）を問う問題である。

問2.

小学校5年生及び中学校2年生について、過去15年間の50m走（走能力）、立ち幅とび（跳躍能力）、及びソフトボール投げ/ハンドボール投げ（投球能力）の経年変化を示した問題資料をもとに、ソフトボール投げ/ハンドボール投げ（投球能力）の経年変化について考察し（思考力）、的確に記述できるか（表現力）を問う問題である。

問3.

新体力テストのソフトボール投げおよびハンドボール投げの実施要項について、理解しているか（理解力）を問う問題である。

問 4.

4つの問題資料から、近年の子どもの走能力、跳躍能力、および投球能力についての現状を理解したうえで（理解力）、問題資料等からボール投げ能力の向上につながる解決策を発想できるか（思考力）、また、指定されている観点を含み、自ら作成した図表等を効果的に利用しながら論理展開ができているか（表現力）を問う問題である。